

ハイブリッド車
導入事例

ハイブリッド車のリアル

現場の声を聞いてみました。



快適性と優れた低燃費で毎日の運転をサポートする日野プロフィア ハイブリッド。その使用実感や導入効果について、現場の皆さまの声を届けます。今回は、全国各地に物流拠点をもち、カンガルー特急便を中心としたB to B物流事業を展開する西濃運輸株式会社にお話を伺いました。

西濃運輸株式会社

住所：岐阜県大垣市田口町1
代表者：取締役社長 小寺康久
創業：1930（昭和5）年2月
従業員数：12,726名（2021年4月末時点）
車両保有台数：11,235台（2021年4月末時点）

『輸送立国』という使命のもと ハイブリッド車両を積極的に導入。

同社が使命として掲げる『輸送立国』とは“物流を通じて、お客様に喜んでいただける最高のサービスを常に提供し、国家社会に貢献すること。この使命のもと、経済活動だけでなく環境保全活動にも全社一丸となって取り組んでいます。そのひとつがハイブリッド車両の導入で、現在、小型・中型車に加え6台の日野プロフィアハイブリッドが稼働。車両にはデジタコやドラレコといった支援機器を積極的に導入するなど、環境に配慮し、高い燃費効果も発揮しています。また、同社は昨年、滋賀県と環境保全に関する協定を締結。県と連携して物流効率化やCO₂排出量削減などを行うことで、より大きな環境負荷低減効果が期待されます。

快適でカッコよく 気持ちが高まる最先端のトラックです。

山口県～滋賀・岐阜県を1運行600km以上走ります。ハイブリッド12速AMT車は運転をラクにしてくれます。変速もスムーズでEV走行はスーッと静かです。道路・積み荷の状況に応じて、エコ・パワーモードに切替えています。荷量に変化しても燃費が安定していたのは驚きました。



山口支店 路線業務社員
三石 彦彦様

省燃費運転のコツを知ること 大きな効果につながっています。

ハイブリッド車の省燃費のポイントはいかに“回生”を生かした運転ができるか。その点はインストラクターの運転指導の甲斐あって、効果的なエコドライブを積み重ねています。車両と取組みが相まって、ディーゼル車比20%以上の燃費効果です。カーボンニュートラル、そして安全社会の実現に向けて、ハイブリッド車に期待しています。



輸送品質部 部長補佐
小林 勝彦様

ドライバーと管理者が一体となって『エコ安全ドライブ』を目指す。

各ドライバーが“早めのアクセルオフ”や“加減速の少ない運転”など、安全かつ燃費効果の高い『エコ安全ドライブ』を習慣化。一人ひとりが確実に実践することで、大きな効果を生み出しています。こうした取り組みが「2020年度エコドライブ活動コンクール 国土交通大臣賞」の受賞に結果しました。

百万遍教育

日々の業務や研修を通して、大切なことを繰り返し伝え、目的を再確認しながら意識づけ・習慣づけします。ドライバー指導の際にはデジタコの数値をもとに客観的に説明することで、運転のクセを改善しています。

安全推進インストラクター制度

ドライバーコンテスト全国大会出場経験者を中心に、安全推進インストラクターを選任。インストラクターがエリアごとに体験型教育を実施し、受講者が各店所で水平展開することで、技術やノウハウを共有しています。

表彰制度

無事故かつ月間伸長率トップ者を「今月のエコ安全ドライバー」として表彰し、社内ポスターとホームページで紹介。家族やお客様から反響が得られ、ドライバーのモチベーション向上につながっています。



優秀者が掲載されたポスターは、各事業所に掲示・共有される。